**第１５回市民自治推進委員会　まちづくり部会議事録**

（敬称略）

|  |  |
| --- | --- |
| 開催日時 | 平成３０年１０月１６日（火）　１８時３０分～ |
| 開催場所 | 登別市役所　２階　第２委員会室 |
| 出席者 | （副部会長）成田　育磨  （部 会 員）山田　正幸、稲葉　一彦、渡部　雅子、  川島　雅司  （庁内委員）田中　道郎  （庁内委員兼事務局）笠井　康之  （事 務 局）伊藤慶一郎 |
| 欠席者 | （部 会 長）中原　義勝  （部 会 員）田中　寛志、工藤　隆行、髙橋　達朗 |
| 議　　題 | まちづくり部会の今後の取組（案）について |

協議の概要

平成３０年７月３０日（月）に開催した第１４回まちづくり部会において、同部会における今後の取組の方向性を協議するも決定に至らなかったことから、前回の部会で出た意見を整理し、課題や課題解決に向けて実施できる取組、それによって得られる効果等をまとめた取組（案）を作成したため、内容について協議・検討する。

●協議事項

（取組（案）について）

（１）「市制施行５０周年に向けた取組」

・市制施行５０周年は単に５０年を祝って終わりではなく、この先を見据えた動き

をしていくことが課題となっており、まちづくり部会として取り組むべきテーマ

と考えるが、例えば市役所本庁舎を建て替えてその周辺のまちづくりをどう進め

ていくかなど、そこが重要であると思うものの、その点について市のコンセプト

が明確ではないと感じる。

（２）「町内会の活性化に向けた取組」

・いま、どの町内会も世帯減少や高齢化が進み、役員のなり手がいないことから、

特定の役員等に負担がかかり、その現状が若い世代の役員離れ・町内会離れにつ

ながっているため、町内会を維持する上での適正な世帯数や地区割等を市が方針

を立てて進めていって欲しい。

⇒町内会の合併等については地域の事情もあるので、市やまちづくり部会が主導

することは難しいと思う。

・町内会と市がいかに信頼関係を築いていけるか、ということも必要となってくる

ので、市職員には積極的に、町内会活動に参加して欲しい。

（３）「チラシ『協働の手引き』等の作成に向けた取組」

・“協働”や“まちづくり”という言葉は、まだまだ市民に浸透しているとは言い

難く、正直なところイメージもしづらい。

⇒「なぜ協働のまちづくりが必要なのか」、また、「どのような取組が協働のまち

づくりというのか」を説明したものが登別市にはなく、確かに市民の方々にも

浸透しているとは言い難いので、時間をかけて徐々に意識付けをしていく必要

がある。

⇒チラシを作るとしても抽象的な内容ではなく、なるべくわかりやすく、実行性

のあるものでなければいけない。

●決定事項

・協議の結果、（１）及び（２）に取り組むとしても“協働”への理解や市民参画

が必要不可欠であるとして、今後のまちづくり部会の取組は（３）「協働のまち

づくり」を促進させるチラシを作成することとなった。

※その他（協議・決定事項）

　・平成３１年度のまちづくり部会の予算について

　　⇒チラシ作成等に要する経費を要求することとした。

【次回会議】

　・日程：地区懇談会及び平成３０年第４回定例会の一般質問終了後の開催に向け、

日程調整する。

　・内容：各自、チラシの構成案や盛り込んだ方が良い文案などを持ち寄り、チラシ

作成のアイデアを収集する。